



平成28年8月 マンスリー レポート

集計企業数 55 社

① 売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	57,976,931 万円	100.0%	101.0% (104.3%)	55,524,388 万円	99.1% (102.6%)
食 料 品	49,655,718 万円	85.6% (84.7%)	101.7% (104.6%)	47,627,165 万円	99.3% (102.5%)
農 産	7,579,651 万円	13.1% (12.5%)	100.2% (105.3%)	7,280,475 万円	97.9% (103.0%)
水 産	4,602,520 万円	7.9% (8.3%)	99.4% (102.7%)	4,416,994 万円	97.1% (100.6%)
畜 産	5,824,391 万円	10.0% (10.0%)	101.4% (104.2%)	5,582,152 万円	98.8% (101.8%)
惣 菜	6,067,734 万円	10.5% (9.9%)	101.8% (105.7%)	5,789,650 万円	98.9% (103.0%)
日配食品	11,045,901 万円	19.0% (19.0%)	103.1% (104.8%)	10,623,729 万円	100.9% (102.8%)
加工食品	14,535,521 万円	25.1% (25.0%)	102.2% (104.6%)	13,934,165 万円	100.1% (102.8%)
生活関連	3,688,975 万円	6.4% (6.5%)	100.0% (103.0%)	3,580,556 万円	99.5% (102.9%)
衣 料 品	1,509,271 万円	2.6% (3.1%)	94.3% (103.0%)	1,447,919 万円	96.0% (105.1%)
そ の 他	3,122,967 万円	5.4% (5.7%)	95.5% (101.0%)	2,868,748 万円	96.2% (102.0%)

② 数 値

全店総売上高	57,976,931 万円	店 舗 数	4,649 店舗
総売場面積	9,141,721.6 m ²	総従業員数	257,749 人

店舗平均月商	12,470.8 万円	平均客単価 (前年同月比)	1,877.2 円 (99.7%)
月間m ² 売上(前月)	6.3 万円 (6.3 万円)	平均店舗面積	1,966.4 m ²
月間坪売上(前月)	21.0 万円 (20.7 万円)	パート比率(前月)	78.2% (77.7%)

注) 総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

《 全体概況 》

- ・ 8月の天候は、ほぼ全国的に平均気温が高く、日照時間は北日本、東日本日本海側、西日本で多かった。8月に日本に上陸した台風は4個で平年値0.9個を大きく上回り、その影響もあり北日本、東日本太平洋側で降水量が多かった
- ・ 昨年と比べ、土曜日、日曜日が1日少なく、売上へはマイナスの影響を与えた。また、一部に前年のプレミアム商品券の反動もあった
- ・ 生鮮品の相場状況は、野菜は玉ねぎなど一部に高騰があるものの全体としては昨年より安値、果実も概ね安値で推移しているほか、和牛等の国産牛肉は引き続き高値で推移した

《 商品動向 》

○ 農産

- ・ 野菜は、「トマト」「ブロッコリー」「枝豆」が概ね好調であったほか、気温の要因もあり「しょうが」「にんにく」などの薬味商材が売上を伸ばした
- ・ 昨年より高値相場で推移した「玉ねぎ」が売上を伸ばした一方、安値相場であった「キャベツ」「レタス」「きゅうり」は販売価格の低下による売上の減少が見られた
- ・ 果実は、「すいか」「梨」「ぶどう」が概ね好調であった一方、「桃」は好不調が分かれた。輸入果実では、「キウイフルーツ」「アボカド」が好調を継続している

○ 水産

- ・ 例年より水揚げが多かった生まぐろの売り込みや、価格の打ち出しができた「まぐろ」が好調であった一方、漁獲不漁により入荷が不安定であった「生さんま」、本年は土用の二の丑が無かった「うなぎ」が低調であった
- ・ 健康志向の需要増による「海藻類」が引き続き売上を伸ばしている

○ 畜産

- ・ 「牛肉」は焼肉、ステーキなどの用途が好調であったが、国産牛肉の相場が依然として高いため和牛は低調であった。牛肉全体では企業により好不調が分かれる結果であった
- ・ 「豚肉」、「鶏肉」は低調な結果が多く、「加工肉」も回復の傾向はみられなかった一方、「ひき肉」が引き続き好調を維持している

○ 惣菜

- ・ 気温の要因により冷やし中華、ざるそば等の「調理麺」や「サラダ」が好調であった
- ・ お酒のおつまみ、リオオリンピックのテレビ観戦時の需要に向けて、「唐揚げ」「焼き鳥」などのおつまみメニューの取り組みの成功事例が多く見られた

○ 日配・加工食品

- ・ 気温の要因により「飲料」「ビール類」「乾麺」「アイスクリーム」などの季節指数が高い商品が伸長し、月を通して好調だった
- ・ 前年は月後半に気温が低くなったためホットメニュー関連の需要が拡大したが、今年は気温が高く推移したため動きが鈍く、前年と比較すると売上の減少があった
- ・ 健康志向により需要が上がった商品は好調を維持しており、「ヨーグルト」「梅干し」などの売上伸長が続いている

「お盆、サマーギフトの状況」について

- ・ おもてなしメニューでは「寿司」「焼肉」「刺身」が概ね好調であった一方、「煮物」の需要は年々減少の傾向になっている
- ・ お供え関連では「供花」などの切り花が好調であった一方、「落雁」「おはぎ」などの菓子が低調であった
- ・ 8月11日が「山の日」の祝日となり、盆商戦のピークは前倒し傾向であった
- ・ 中元ギフトは、期間通した累計で昨年を下回る結果が多かった。気温の要因もあり「飲料」「乾麺」「菓子」が好調だった一方、「加工肉」が低調とのコメントが多かった

以 上